ふじやまだより

第19号
発行 2004年
7月15日
本郷
ふじやま公園
運営委員会

夫婦仲良く楽しい人生でありますように

子宝が授かりますように

来年も元気で迎えたい

いつも元気が一番

今年も元気でがんばろう

家内安全

ごうかく

アンパンマンのおうちにいけますように

自然豊かな緑が残りますように

長寿のあやかり星祭り

犬がかえますように

ケーキやさんになる

たからくじがあたりますように

七夕祭り

長屋門公園（歴史体験ゾーン）

古民家スケッチめぐり（その3）

広報部会　横尾　正孝

長屋門の前に立つと、まず、そのつくりに目を惹かれます。この門は、向かって右側の居住部分と左側に納屋土間、さらに土蔵が続く珍しい形式で、建築年代は明治１７年といわれています。居住部分は隠居所として使われたり、養蚕に利用されたり、戦後は、外壁を白い漆喰で覆い診療所に使われたこともあるもので、その長い歴史のせいか、周りの景色に溶け込んで堂々としています。

門をくぐると、正面に母屋（旧安西家）右手に文庫蔵、中央右に井戸、左手には流石組を配した流れが、落ち着いた雰囲気を醸し出しています。母屋では、生憎の雨で、訪れる人も無い囲炉裏に、火だけが赤々と燃えています。母屋から裏庭をみると、雨を待っていたかのように、今を盛りと咲き誇るアジサイと若竹の緑がいかにも美しい。この母屋は泉区和泉町に屋敷を構えていた安西家の主屋でありましたが、横浜市に寄贈され、一年の復元修理工事を経て、平成４年６月に竣工したものであります。建築年代を明らかにする史料は未だ発見されていませんが、間取りや構造の特徴から、おそらく江戸時代中期のものではないかと推察されています。事務局長さんのお話では、この歴史体験ゾーンは、大変熱心な地元のボランティアの人たちに支えられており、各種のユニークなイベントの開催等活発に進められています。売店で売られている長屋門銘菓「昔が来た」も近くのお菓子屋さんのご協力によるものだそうです。休日ともなれば、沢山の人がここを訪れますが、開園以来、一つの落書きもないそうで、大切に管理されている様子が伺えます。

相鉄線「三つ境」駅より、徒歩１８分。
神奈中バス　「戸塚方面」「上阿久和」下車　徒歩　３分。
開園時間　９時～１７時　休館日　毎月第2金曜日（但し祝日は開園）

里山そば打ち塾へ参加して

そばうち研究班　らん きり子

昨年秋、そばうち研究班なるグループ（８名のメンバー）が出来て、松木そば塾長から指導を受けてきました。家族には美味いと喜ばれ、また作ってね、と言われると、忙しい合間に、自家製そばを打つようになりました。素人でもこんなに美味しいそばが打てた発見と魅力を知り、是非まだ、そばを打ったことのない人にお伝えしたいと思うように、松木そば塾長のお手伝いをすることになりました。

５月２２日に多数の応募者の中から選ばれた男女１１名とスタッフ５名で、里山そば打ち塾　第一回体験教室が行われました。用意したステンレスボール（こね鉢にしないのは、家庭でも気軽に作るため）にそば粉をふるい、そして手で素早く混ぜる先生の実演を見ながら作業に入りました。１３工程（水回し、くくり、練り、菊出し、へそ出し、地のし、丸出し、角出し、本のし、たたみ、切り、ゆで、盛り付け）を、参加者１１名は、なんとなくこなし、打ったそばを茹でて、皆さんと試食しながら和気藹々と感想を述べ合いました。

初めての人は、こんなに美味しいそばを打てたことに感激していました。またチャンスがあれば挑戦してみたいと、ほとんどの人の重いでした。打ったそばを持ち帰る姿を見て、スタッフの一人としてお手伝い出来たことに大変感謝し、充実感を味わいました。

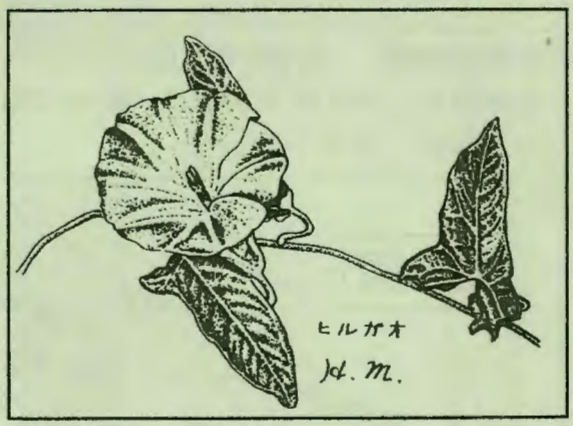
これからも、里山そば打ち塾に参加される皆さんに喜んで頂けることに、少しでもお役にたつならば　と想い、今日も自宅でそばを打つ腕を磨いています。

そば大好き人間集合！！

生命力の強いヒルガオ（花暦その３）

里山部会　宗森 英夫

本郷ふじやま公園の庭園部のあちこちに咲いている淡桃色の直径約５ｃｍの花がヒルガオです。夏の日盛りに花を咲かせるところから、朝顔に対して昼顔の名があります。白いストロー位の太さの地下茎が数ｍも伸びて、思わぬところから芽をだします。地下茎は切れやすく、切れた茎からも芽が出てどんどん増えていきます。地上の茎はつるとなって左巻きで、まわりのものにからみつきます。花期は４～９月で、割と長く見られます。



古民家の生活(3)

広報部会 相原 雅夫

「かまど」

古民家には大きな「かまど」と小さな「かまど」があります。大きいほうはには三つの釜をかけて「かまど」と呼び、もう一つのほうは二つの釜をかけて「へっつい」と呼んだそうです。どちらも同じものですが、忙しい日常の中で呼び分けたのでしょうね。

広辞苑によると「かまど」の「ど」は場所を意味するとあります。また「かまど」は転じて、身代の意味もあるそうです。

「かまど」の神は一般に男神とされる地方が多く、ひょっとこ（火男）もその一種の変形とされますが、子沢山の女神なので家庭を守ってくれるのだともいわれています。

催し物

教室名	日時	内容	定員	材料費
粘土工芸 （全３回）	9月10日、9月24日 10月1日 各金曜日の13時～16時	ピエロのペン立て 又は　小物入れ （ブロンズ仕上げ）	12名	¥ 2,000
造形遊び	9月11日（土） 13時～16時	竹・竹炭・コケを使って 盆栽用の鉢玉を作る	15名	¥ 800
染色 （全４回）	9月21日、10月19日 11月16日、12月21日 各火曜日の13時～16時	草木染め体験	12名	¥ 2,000
里山のそば うち塾	9月25日（土） 10時～13時	初心者そばうち体験	12名	¥700 （そば仕上がり３人分）

（１）定員　：応募者多数時抽選（但し、そばうち塾は前回の参加者は応募できません）
（２）応募要領　：往復ハガキに、教室名、氏名（ふりがな）、〒、住所、電話番号を書いて
8月31日（必着）**本郷ふじやま公園へ**

お知らせ

◎ **防火訓練を７月２０日　１１時～**　行います。多くの皆様の参加をお願いいたします。

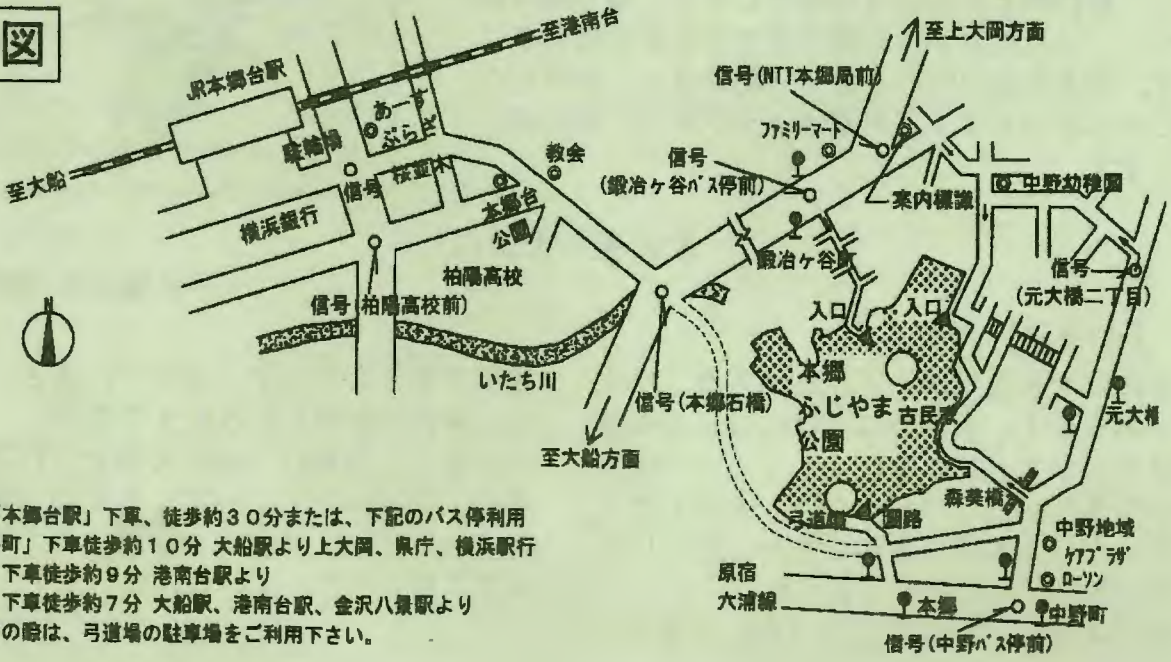
- **休館日**　：　**8月4日（水）**
- **クリーンアップ作業日・時**　：　**8月3日（火）、8月17日（火）　10時～11時**
- **いろりを焚く日・時**　：**8月1日（日）、4日（水）、8日（土）、15日（日）、19日（木）　9時半～12時**

古民家ゾーン　ご利用案内

◎開館時間　：9:00～17:00
◎休館日：毎月第１水曜日（祝日の場合はその翌日）
◎入館料：無料

◆ 本郷ふじやま公園運営委員会
〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷１－２０
Tel:896-0590　Fax:896-0593
◆ 緑政局中部公園緑地事務所
Tel:711-7802　Fax:712-6260

案内図



交通案内
◎ＪＲ根岸線「本郷台駅」下車、徒歩約３０分または、下記のバス停利用
●「鍛冶ヶ谷町」下車徒歩約１０分 大船駅より上大岡、県庁、横浜駅行
●「元大橋」下車徒歩約９分 港南台駅より
●「中野町」下車徒歩約７分 大船駅、港南台駅、金沢八景駅より
※車でおいでの際は、弓道場の駐車場をご利用下さい。